



平成28年度
科学技術分野の文部科学大臣表彰
科学技術賞「技術部門」の募集について
 ～ 文部科学省 ～

募集期間：平成27年5月29日(金)～7月27日(月)

本表彰は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的とし、昭和34年度に創設された、文部科学大臣表彰です。

科学技術賞「技術部門」の対象

◆中小企業・地場産業において、実利用され、科学技術の開発・育成に顕著な功績を挙げた成果

＊「優れた技術」

地域や業種間の各分野に特化した技術であって、**技術開発成果に係る売上実績が3年間あり、地域経済等の発展に貢献**した顕著な成果

＊「育成」

技術開発成果について、自らも参画する等の**直接的貢献を有するとともにその技術の完成、実施に対し技術的な指導**を行う等の育成

募集・選定スケジュール

平成27年5月29日

募集開始

※推薦機関へ依頼

平成27年7月27日

募集締切

審査

平成28年4月上旬

**受賞者の
公表・表彰**

応募について

- 推薦事務要領、申請書類は、文部科学省ホームページ(HP)からダウンロードしてください。
- 応募は、HPに添付されている都道府県等の推薦機関を通じてください。
 (http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/index.htm)

平成27年度受賞業績

- 海藻の高速攪拌塩漬法および装置の開発
- 発泡スチロール用インクジェットインクの開発
- 環境対応型機能性リン類の触媒の製造技術の開発
- 寒天培養による微生物の標準試験法を迅速数値化した技術開発
- 大気開放型CVD法による半導体産業向け耐腐食コートの開発
- 生鮮食品の鮮度保持と熟成に資する氷温貯蔵庫システムの開発
- バイタルサインを利用した種卵検査装置の開発
- ソフトマターすくい上げ搬送技術の開発
- 医薬用水などの品質管理用TOC計の開発
- 硬さ基準片の高精度化及び等価くぼみ硬さ試験方法の開発

(お問い合わせ) 文部科学省 研究振興局 振興企画課 奨励室
 電話 03-6734-4071 (直通)

発泡スチロール用インクジェットインクの開発 (紀州技研工業(株))

推薦機関:和歌山県

本開発は、従来の「スクリーン印刷」もしくは「印刷済ラベル」の貼着などの発泡スチロール容器への印字方法に代わる方法として「インクジェット方式」での印字方法の開発に取り組んだものである。通常、発泡スチロール製容器に印字しようとすると、印刷の剥離や定着不足が起きたり、インク成分が容器を侵して表面が陥没するなどといった問題が生じるが、インク成分の工夫と装置の開発でこの問題の解決に成功した。

本開発により、スクリーン印刷と比べても遜色のないマーキングが可能となった。また、インクジェット方式はデジタルデータに基づく印刷であるため、版の作成や納期の問題がなく、ラベルのような在庫保有の問題も同時に解決することができ、さらに画像データに基づく印刷をリアルタイムで実施できることから少量多品種にも対応可能となるなど、印刷環境の改善や期間短縮に寄与している。

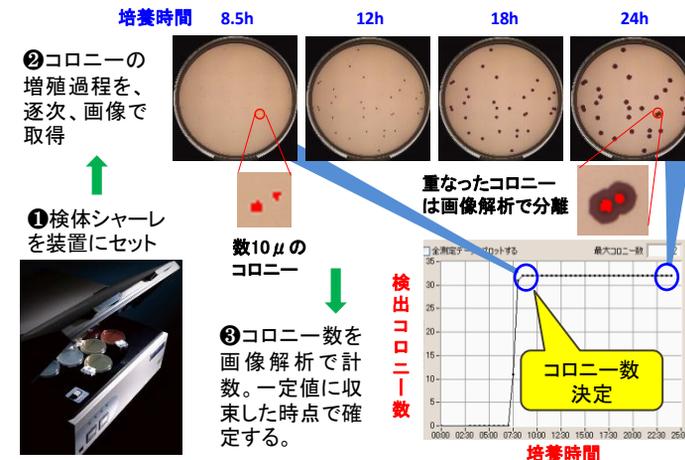


寒天培養による微生物の標準試験法を迅速数値化した技術開発 (仙台高等専門学校他)

推薦機関:(独)国立高等専門学校機構仙台高等専門学校

本開発は、検体を培養しながらマイクロレベルで継続的にモニターし、発生したコロニーを逐次検出してその数を正確に決定していく方法論を考案した。また、これを実現するために核となる光学機構と画像解析法を開発し、細菌検査装置として製品化に成功した。

本開発により、従来は検体を数日培養した後に目視で計数したのに対し、検体をセットして装置をスタートするだけで、コロニーが最速6時間程度で自動的に検出されて計数されるという迅速性を実現した。成長して重なったコロニー画像の分離識別技術や、コロニーとゴミの立体形状の解析技術も開発し、従来は困難だった数千個のコロニーも正確に計数できるようになった。黴などの検出にも適用可能であり、大学や研究所では研究や開発に、食品加工等の業界では、食の安全や製品の品質管理に寄与している。



海藻の高速攪拌塩漬法および装置の開発 (石村工業(株)他)

推薦機関:(公社)発明協会

本開発では、湯通した海藻を網袋に詰め、飽和食塩水中で網袋を攪拌しながら、最後まで飽和濃度を維持して塩漬すると、1時間以内に塩漬は完了した。そこで、生産現場での使用に適した処理能力と耐久性を備え、1時間で500kgの海藻を塩漬できる高速攪拌塩漬装置を開発・商品化した。

本開発により、海藻の塩漬は計画的に行われて午前中には完了するので、午後には脱水・芯抜き・箱詰め作業ができる。タンク揚げや洗い作業も無くなり、塩漬作業の効率化と省力化に成功した。

本成果は、三陸産養殖ワカメ・コンブの震災復興、海藻の養殖規模の拡大、生産意欲の向上、後継者育成に大きく貢献した。塩蔵海藻製品の塩分の均一化が図られ、保存性の良好な製品が出荷されるようになり、三陸特産の湯通し塩蔵ワカメ・コンブの復興と安定供給に寄与している。

